

大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット - 「ヘラクレス」市場 2006 年 2 月 28 日

> 札幌市中央区北9条西15丁目28番地196 株式会社ソフトフロント 代表取締役社長 阪口 克彦 (証券コード番号:2321)

ソフトフロント、Windows Mobile 5.0対応SIP/VoIPミドルウェアを提供開始

~ WILLCOM のスマートフォン「W-ZERO3」にて動作確認を完了~

株式会社ソフトフロント(本社:札幌市、代表取締役社長:阪口 克彦、以下 ソフトフロント)は、現在提供している SIP(*1)/VoIP(*2)ミドルウェアの OS(Linux、VxWorks、µITRON、Windows(2000/XP/CE))などに加え、Windows Mobile 5.0 に対応した SIP/VoIPミドルウェアを開発し、WILLCOM のスマートフォン「W-ZERO3」での動作確認をいたしました。

ソフトフロントは、固定/携帯電話網の融合環境として注目されている FMC(*3)に対応する携帯電話市場を重要な顧客ターゲットの一つとして考えており、携帯電話端末メーカーに向けた製品開発を行っております。

今回対応を行った Windows Mobile は、グローバルな規模で急激な広がりを見せる PDA・スマートフォン市場において、オフィスでの利用頻度が高いアプリケーションとの連携がしやすいことなどから、注目されている OS です。 この OS への対応により、 FMC など将来性の高い市場に対する開発環境の提供が可能となりました。

本ミドルウェアは VoIP 通話機能だけでなく、相手の状態をリアルタイムに表示するプレゼンス機能や、端末間でリアルタイムなテキストコミュニケーションを可能にするインスタントメッセージ(IM)機能を持つ端末アプリケーションの開発を行うことが可能です。加えて、IMS(*4)標準規格に準拠した PoC(*5)機能なども開発中です。

また、デュアル携帯端末としても利用できる「W-ZERO3」への対応により、屋外では PHS 通信、家庭やオフィスなどでは無線 LAN 通信といった1つの端末で2つの通信形式を利用できる"ワンデバイス"機能を実現するための最適な開発環境として、本ミドルウェアをご利用いただけます。この製品追加によって、更に多くの携帯端末用プラットフォームにおいて当社ミドルウェアを用いた端末アプリケーションの開発が可能となりました。

ソフトフロントは、今回の「W-ZERO3」や、既に提供しているドコモ「M1000」へのSIP/VoIPミドルウェアの組込み開発ノウハウや、対応プラットフォームの拡充を基に、今後益々IP化への期待が高まる携帯電話市場に向けてSIP/VoIP技術の提供を積極的に展開し、市場におけるSIP/VoIP製品の普及・拡大を推進してまいります。

【ご参考】

(*1) SIP(Session Initiation Protocol)

IP 電話、ビデオ会議などを実現する新しいプロトコル(RFC3261)。Web の技術として有名な HTTP と同様にテキストベースであり、シンプルで拡張性が高いことから、IP 電話の標準的なプロトコルとして利用されている。最近では、その特徴を生かしてデジタル情報家電などへの搭載が注目されている。

(*2) VoIP (Voice over Internet Protocol)

IPネットワークを利用した音声通話の技術一般を指す。現在、注目されている IP 電話は、この技術を応用したもの。

(*3) FMC (Fixed Mobile Convergence)

固定電話と携帯電話の融合のこと。これにより、通信事業者が提供する固定電話と携帯電話のサービスを1つの端末で利用できるようになる。

(*4) IMS(IP Multimedia Subsystem)

第3世代携帯電話の規格標準化を行なっている団体「3GPP」(3rd generation partnership project)と「3GPP2」によって、標準化されている規格で新しい通信事業用ネットワーク。セッション制御に SIP を採用しており、データ・音声・モバイルのネットワーク技術を IP ベースのインフラストラクチャ上に融合させることにより様々なマルチメ ディアサービスを実現可能とする。

(*5) PoC (Push-To-Talk over Cellular)

モバイル・アプリケーション技術の標準化を推進する業界団体「OMA」 (Open Mobile Alliance) が、第3世代携帯電話の標準化組織「3GPP」と連携して標準化を進めている。携帯電話をトランシーバのように使用することを可能にし、ボタンに触るだけでコミュニケーションが実現。3GPP が「IMS」と呼ぶ携帯電話用マルチメディア・サービス・プラットフォームの一つのアプリケーションとして位置付けられている。



WILLCOM「W-ZERO3」対応SIP/VoIPサンプルアプリケーション (画面は開発例です。)



記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。 掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

【プロフィール】

株式会社ソフトフロント

1997年設立のソフトウエア開発企業です。SIPとVoIPを核技術とし、業界から本分野の核技術の提供企業として注目されています。「技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること」を企業理念として、事業を展開しています。また、業界標準プロトコルになりつつある SIP に早くから注力しており、様々な技術とノウハウを蓄積してまいりました。現在は、これまで培ってきた SIPと VoIPに関する技術やノウハウを多数のメーカーやシステム・インテグレーターに提供し、それらのパートナー企業を通じて当社技術の普及を図る「SIP パートナープログラム」事業に注力しています。さらに現在は、各種 CPU / OS ベンダーとの連携により、SIP 開発環境の拡充を図っております。URL: http://www.softfront.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

経営企画室 広報担当

(札幌本社) 内海 電話:011-623-1035 FAX:011-623-1002 (東京本社) 中村 電話:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

E-mail:press@softfront.co.jp

【本製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

SPP 事業本部 営業グループ

電話:03-3568-7009 FAX:03-3568-7008

URL: http://www.softfront.co.jp/spp/enquiry.html